

## 情報公開用文書（附属病院で実施する医学系研究）

（単施設研究用）

西暦 2019 年 8 月 29 日作成 第 1 版

<b>研究課題名</b>	表面置換型人工股関節全置換術患者における運動器超音波の有用性の評価
<b>研究の対象</b>	2009 年 4 月 1 日から 2018 年 7 月 31 日までに横浜市立大学附属病院で股関節疾患に対して表面置換型人工股関節全置換術を施行した患者さんで、2019 年 7 月 31 日までに股関節に対する MRI および運動器超音波検査を施行した患者さんです。
<b>研究目的 ・方法</b>	<p>本研究の目的は表面置換型人工股関節全置換術者における運動器超音波の有用性を明らかにすることです。超音波検査は非侵襲的な迅速性に優れた画像診断装置で、少ないコストで各種疾患の診断が可能ですが、HRA 患者さんに対する画像診断方法としての有用性は明らかにされていません。またスクリーニング方法に関する検証もなされていません。</p> <p>当院で HRA を施行した患者さんは術後経過観察期間中に MRI による合併症の有無の判定を定期的に行なっていますが、本研究ではこれまでにこなってきた運動器超音波の画像所見を MRI の所見と比較することで、超音波診断装置の有用性や超音波スクリーニング方法の有用性について評価を画像所見と MRI 所見の比較を行います。</p>
<b>研究期間</b>	西暦 2020 年 2 月 14 日 ~ 西暦 2020 年 8 月 31 日
<b>研究に用いる 試料・情報 の種類</b>	<p>以下情報を診療録より収集します。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 患者基本情報：年齢、性別、診断名、手術日時、検査日時、患肢の左右</li> <li>2) 血液検査 (WBC, Hb, Plt, CRP, ESR, GOT, GPT, ALP, Cre, BUN)</li> <li>3) 画像検査 (X 線, MRI, 運動器超音波)</li> <li>4) 治療内容 (手術侵入方法)</li> <li>5) 術前後股関節機能</li> <li>6) 有害事象 7) 予後</li> </ol>
<p>本研究に関するご質問・ご相談等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。</p> <p>ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますので下記連絡先まで電話または FAX でお申出下さい。</p> <p>また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはございません。</p>	
<p><b>問合せ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：</b></p> <p>〒236-0004 横浜市金沢区福浦 3-9</p> <p>横浜市立大学附属病院 整形外科 (研究責任者) 崔 賢民</p> <p>電話番号：045-787-2800 (代表) FAX：045-781-7922</p>	